

ひとめぼれチャレンジ 産地へのおたより

○ バケツ稲も今年で4年目となりました。
バケツの数も増え、5つのバケツ
を使って栽培しています。
中まになた娘と2人で、
これまで、肥料や日光の条件を
変えたり、品種による成長の比較
をしてきました。今年「開花」に
着目し、日長時間や夜間照射
と開花との関係を調べました。
開花予想8月16日は的中し、開花と
日長時間との関連性がみられました。
稲作を通して、植物の科学に
触れたい。



《産地へのおたより》

※いただいたおたよりはコープの紙面、ホームページ等で紹介させていただく場合があります。

バケツ稲の栽培は5年目になります。
毎年、5月になると恒例のように種もみの芽出し、
種植えから始まり、10月の収穫を迎えます。
娘が、「私のバケツ稲」として毎年研究・観察
をしているのが長続きしている理由でしょうか。
昨年は茨城県調べる学習コンクールで茨城県長
賞を頂き、今年は茨城県科学館 桜場賞を
授賞させて頂きました。娘は夏の研究
の成果を認め、頂き、バケツ稲の栽培
は毎年楽しみながら、研究を深めて
います。将来は「農学博士」と
審査委員長に「おほめの言葉を頂き、
有難いです。これからもあつと続けていきま
い」と思っています。来年も「ひとめぼれチャレンジ」をお
待ちしています。